



SENA

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

SENA VISION 2030

第2次三遠南信地域連携ビジョン

2026年2月20日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

1. 県境を越える三遠南信地域



南信州地域 (22)

- 飯田市・松川町・高森町
- 阿南町・阿智村・平谷村
- 根羽村・下條村・売木村
- 天龍村・泰阜村・喬木村
- 豊丘村・大鹿村・駒ヶ根市
- 飯島町・中川村・宮田村
- 伊那市・辰野町・箕輪町
- 南箕輪村

東三河地域 (8)

- 豊橋市・豊川市・蒲郡市
- 新城市・田原市・設楽町
- 東栄町・豊根村

遠州地域 (9)

- 浜松市・磐田市・袋井市
- 湖西市・森町・掛川市
- 菊川市・御前崎市・牧之原市

16市 (政令市・中核市含む)、9町、14村 計39自治体

2. 流域圏の歴史と多様性



- 天竜川や豊川を
利用した**水運**
- 塩や生糸の流通に
代表される「**塩の道**」
- 三州街道や秋葉街道を
通じての交流

⇒活発な文化交流が行われ、
お互いの地域発展や
生活文化の向上に影響を
及ぼし合ってきた。

2. 流域圏の歴史と多様性



3. 三遠南信地域の規模



指標	順位	県名	規模
人口 (人)	13位	京都府	2,578,087
		三遠南信	2,441,412
	14位	宮城県	2,301,996
民営事業所数 (か所)	14位	新潟県	108,401
		三遠南信	107,933
	15位	長野県	105,129
製造品 出荷額等 (億円)	5位	兵庫県	165,023
		三遠南信	144,718
	6位	埼玉県	142,540
卸売年間 商品販売額 (億円)	15位	新潟県	40,113
		三遠南信	37,802
	16位	茨城県	35,949
小売年間 商品販売額 (億円)	14位	京都府	25,632
		三遠南信	24,749
	15位	新潟県	23,097
農業算出額 (億円)	7位	青森県	3,277
		三遠南信	3,051
	8位	愛知県	2,922

出典：人口「国勢調査（2020年）」
 民営事業所数「経済センサス活動調査（2021年）」
 製造品出荷額等「経済構造実態調査（2022年調査）」
 卸売・小売年間商品販売額「経済センサス活動調査（2021年）」
 農業産出額「市町村別農業産出額（推計）（2021年）」
 「生産農業所得統計（2021年）」

4. 三遠南信地域のあゆみ

<国の計画から三遠南信サミット開催まで>

- 1951年 (S26)

国土総合開発法による「**天竜・東三河特定地域**」に指定

→「**豊川用水**」「**佐久間ダム**」などの大規模公共投資を誘発



- 1972年 (S47)

三県知事会議で三遠南信自動車道の建設促進を決定

- 1985年 (S60) 建設促進期成同盟会発足

- 1987年 (S62)

三遠南信自動車道が**第4次全国総合開発計画の高規格幹線道路網計画に位置付けられる**



- 1991年 (H3)

三遠南信地域整備計画調査の実施 (国土、農林水産、林野、通商産業、建設の5省庁)

- 1993年 (H5) **三遠南信地域整備計画調査結果の公表**



- 1994年 (H6)

第1回三遠南信サミット (59市町村、63商工会議所・商工会) の開催

＜県境を越えたビジョンの策定と推進体制の設置＞

- 1994年（H6）
第1回三遠南信サミットの開催



- 2008年（H20）
三遠南信地域連携ビジョン（第1次）を策定
→県境を越える地域の将来像を明確化



- 2008年（H20）
県境域で分断されていた諸体制を統一し、ビジョンを推進する組織として
三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）を設立
30市町村、60経済団体、3県の合計**93団体**が加盟
※現在は39市町村、53経済団体、3県 合計**95団体**が加盟



- 2019年（H31）
第2次三遠南信地域連携ビジョンを策定

5. 三遠南信サミット

【概要】

- 計画策定以前の1994年に第1回を開催。
2025年度で**33回目**
- **産学官民の多様な主体**の意思疎通の場として、**95の構成員**の他、**大学関係者、住民等多くの関係者が一堂に会する**
- 社会情勢の変化に応じて、テーマを設定し、団体の代表者が議論を実施
- 開催地は遠州地域、東三河地域、南信州地域の持ち回り

◇第33回三遠南信サミット（2025年度）
日時：2025年10月6日（月）
会場：飯田文化会館（長野県飯田市）
参加者数：約430人
テーマ：人口減少時代の広域連携



上段：第2回サミット（1994年）の様子
下段：第33回サミット（2025年）の様子

6. 第1次三遠南信地域連携ビジョン（2008年）策定体制

（自治体首長・経済団体長の承認）

三遠南信サミットでの
合意形成

設置
提案

検討委員会

◆委員（地域内）

- ・市町村
- ・商工会議所、商工会
- ・住民団体
- ・学識経験者

◆オブザーバー（国、県）

- ・静岡県、愛知県、長野県
- ・国土交通省、経済産業省
農林水産省、林野庁



◆幹事会

- ・浜松市、豊橋市、飯田市の3市及び商工会議所
- ・静岡県、愛知県、長野県
- ・国土交通省
中部地方整備局

◆拡大事務局会議

◆事務局

7. 第1次三遠南信地域連携ビジョン（2008年）の概要

◆三遠南信地域連携ビジョンのテーマ

三遠南信250万流域都市圏の創造

—世界に繋がる日本の中央回廊—

◆目指すべき地域像



- ① 日本の中央回廊の形成
- ② 大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成
- ③ 流域循環圏の形成

◆5つの目的

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

◆計画期間

概ね10年間

◆5つの基本方針

<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-weight: bold;">中部圏の中核となる地域基盤の形成</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-weight: bold;">持続発展的な産業集積の形成</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <p style="font-weight: bold;">塩の道エコミュージアムの形成</p> </div>	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-weight: bold;">中山間地域を活かす流域モデルの形成</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <p style="font-weight: bold;">広域連携による安全・安心な地域の形成</p> </div>
--	---

8. 第1次ビジョン策定時の課題と対応策

多様な主体が参画するため、合意形成が困難



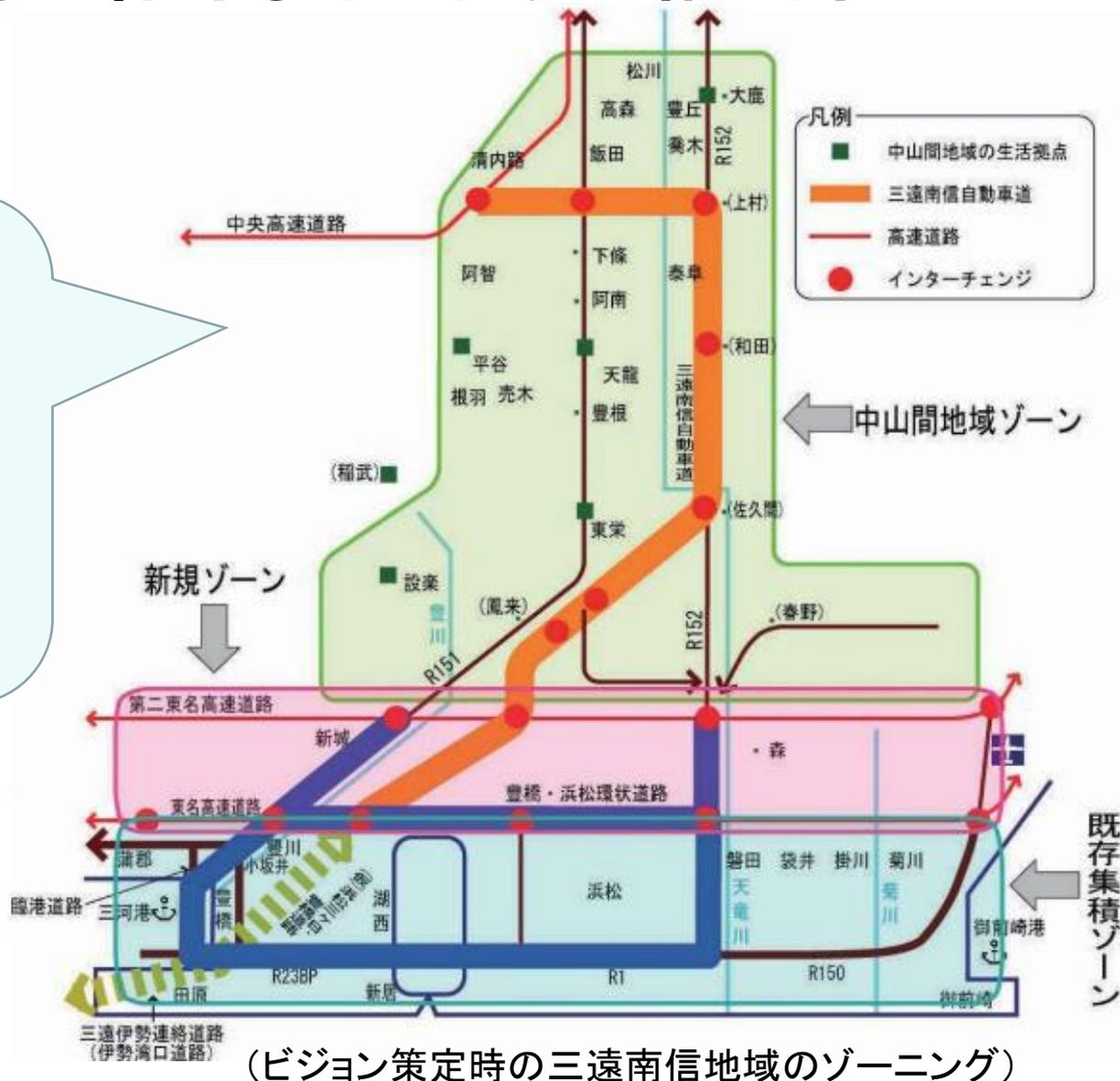
- 三遠南信サミットに構成団体の代表者が参加し、方向性を話し合うことで合意形成を図る
- 県境を越える組織として**広域連合化**を検討



(サミット分科会の様子)

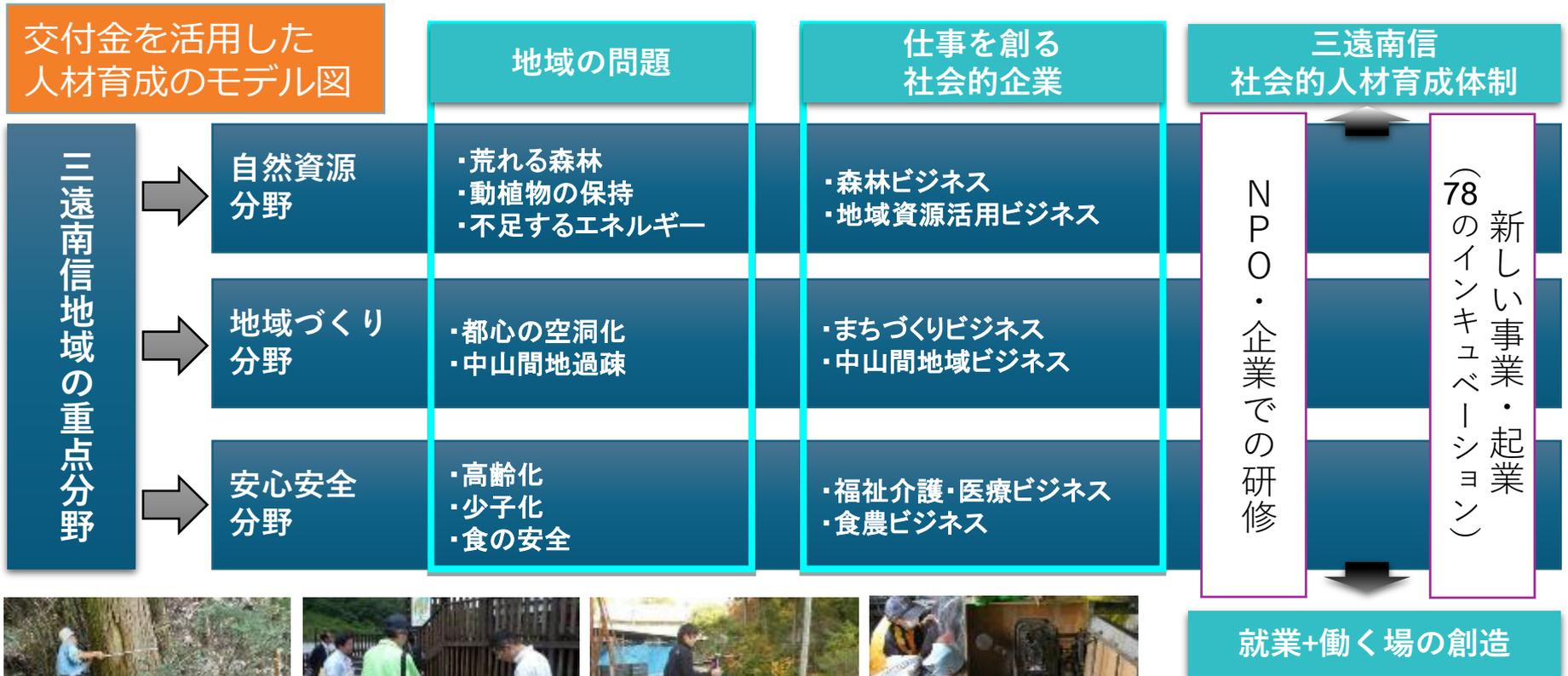
◆ 県境を越える一体的なインフラ整備方針

三遠南信自動車道や浜松湖西豊橋道路などの整備促進につながった



◆ 地域づくりを担う人材育成

- 社会雇用創造事業（内閣府）に採択（2010年～2011年）
- 1,070名の研修生が三遠南信各地で1カ月間のインターンシップ実施
- 78の起業を創出（NPO法人21、株式会社19、その他法人7、個人事業主31）



（NPO法人 穂の国森づくりの会）



（おひさま進歩エネルギー株式会社）



（NPO法人 南信州サイコロジ協会）

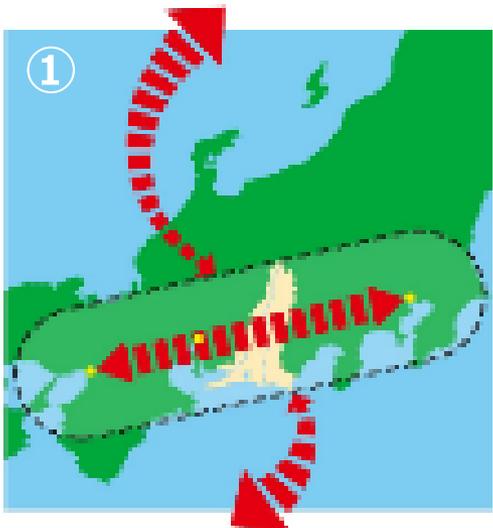


（NPO法人 ガラ紡愛好会）

◆第2次三遠南信地域連携ビジョンのテーマ

三遠南信流域都市圏の創生 —日本の県境連携先進モデル—

◆目指すべき地域像



- ①大都市圏・世界と結ばれる**広域連携都市圏の形成**
- ②中部圏での中核的都市圏の形成
- ③流域循環圏の形成

◆計画期間

2019年～2030年（12年間）

◆重点プロジェクト

- 1▶ 三遠南信交通ネットワーク形成PJ
- 2▶ 三遠南信圏民の一体感醸成PJ
- 3▶ 地域の稼ぐ力強化PJ
- 4▶ 三遠南信探訪PJ
- 5▶ 中山間地域が輝くPJ
- 6▶ 住むなら三遠南信PJ
- 7▶ 人生100年時代PJ

11. 第2次ビジョン策定時の課題と対応策

- 多様な主体の参画により、計画の実施・運営主体が不明確
(県境を越える広域連合化等を検討したが合意にいたらず)

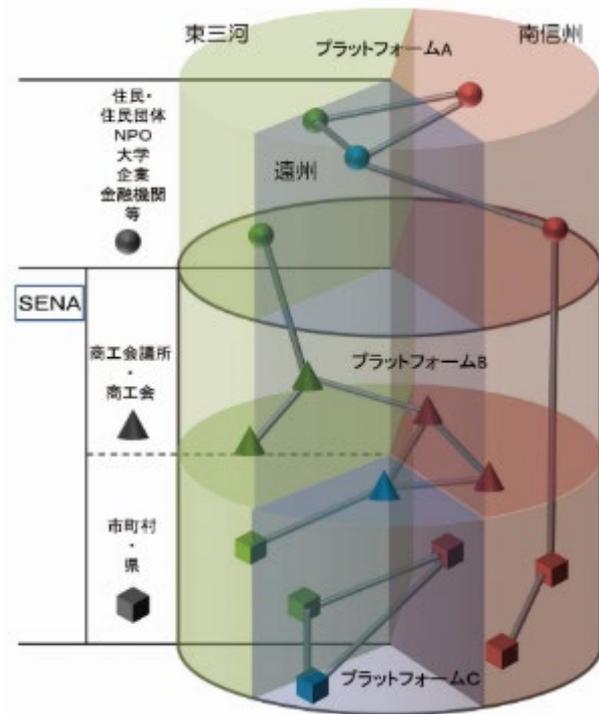


- 個別事業の集合体として「重点プロジェクト」を設定
- 実効性を確保するためプラットフォームの形成の推進を図る

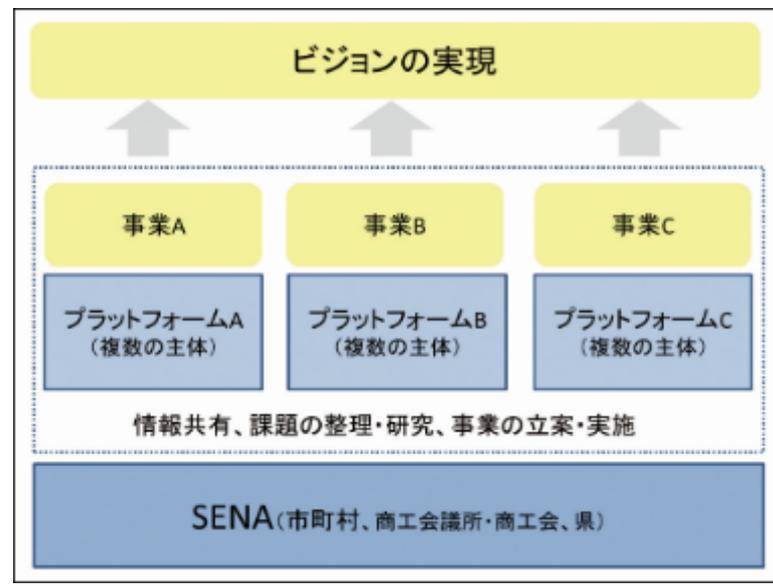
○プラットフォーム

共通した課題を持つ複数の主体が、理念やビジョンを共有し、新たな価値の創出や課題解決ために対話や合意形成を経て連携する枠組み。

■プラットフォーム形成のイメージ



■ビジョン実現のイメージ



12. 80を超える重点プロジェクト連携事業

プロジェクトの分類

① 三遠南信交通
ネットワーク形成PJ



- ・三遠南信自動車道の実現化活動
 - ・三河港の整備促進及び利用促進事業 など
- 合計22事業

② 三遠南信圏民の
一体感醸成PJ



- ・三遠南信地域の特産品情報の情報発信
 - ・合唱劇「カネト」の公演 など
- 合計15事業

③ 地域の稼ぐ力強化PJ



- ・軽トラ市ネットワーク化推進事業
 - ・三遠南信しんきんサミットの開催 など
- 合計6事業

④ 三遠南信探訪PJ



- ・三遠南信ツーリズム推進事業
 - ・JR飯田線の利用促進事業 など
- 合計9事業

⑤ 中山間地域が輝くPJ



- ・峠の国盗り綱引き合戦の開催
 - ・県境域ビジョンの策定 など
- 合計8事業

⑥ 住むなら三遠南信PJ



- ・三遠南信災害時相互応援協定に基づく支援事業
 - ・交流スタンプラリーの開催 など
- 合計15事業

⑦ 人生100年時代PJ



- ・三遠南信教育サミットの開催
 - ・三遠南信中学生交流事業 など
- 合計9事業

重点プロジェクトに関連する
80以上の事業が三遠南信地域内で展開

◆ 三遠南信自動車道の実現化活動【①三遠南信交通ネットワーク形成PJ】

【実施主体】 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）
三遠南信道路建設促進期成同盟会 など

【概要】

- 行政、経済両面から「三遠南信自動車道」「浜松湖西豊橋道路」をはじめとする地域内の交通インフラ整備のための要望活動を実施
- 2023年5月に国内屈指の難工事と言われた「**青崩峠トンネル（仮称）**」が貫通
- 2026年3月には**三遠南信自動車道 東栄IC～鳳来峡IC**（愛知県区間）が開通予定
- 上記道路が開通することで、全体の**約7割が開通**



（青崩峠トンネル（仮称）完成式の様子）

【三遠南信自動車道の整備効果】

① 医療・防災における「命の道」

- 県境を越えた**中山間部の救急搬送時間の短縮、患者搬送時の安全性向上**
- 災害に強く、通行止めの**迂回路としての機能**

② 地域経済の活性化

- 広域的な産業連携の促進
- 農林水産物の販路拡大

③ 広域交流の促進

- 観光交流の促進
- 地域交流の活性化



(SENA発行三遠南信エリアマップより引用)

13.第2次ビジョンの 具体的な取組事例と成果②

◆ 三遠南信自動車道の開通を見据えた取組

① 遠山郷・奥山郷「山大国（やまたいこく）」交流

【実施主体】

遠山郷・奥山郷「山大国」連携交流倶楽部

【概要】

青崩峠トンネル（仮称）の開通を見据え、
長野、静岡両県境の住民が定期的に交流を実施

◇第2回 遠山郷・奥山郷「山大国交流会」

期日：2025年6月29日（日）

会場：浜松市水窪町



② 三河港ポートセミナー in 飯田

【実施主体】 愛知県

【概要】

三遠南信自動車道開通による三河港への移動時間短縮に伴う物流、人流の活発化を見込み、南信州にてセミナーを実施

期日：2026年3月26日（木）

会場：エス・バード（長野県飯田市）

◆ 三遠南信災害時相互応援協定・航空消防応援協定

(⑥住むなら三遠南信プロジェクト)

①相互応援協定

【実施主体】三遠南信地域全39市町村

【概要】

- 災害時の救出・救護や職員派遣、物資の供給などにおいて相互協力
- 2010年、飯田市からの派遣要請により、**遠州、東三河地域から給水車を派遣**
- 毎年、応援要請伝達訓練を実施し、有事に備える

②航空消防応援協定

【実施主体】浜松市、愛知県及び長野県の7消防本部

【概要】

- **浜松市消防ヘリコプター**の県境を越えた**応援体制の整備**
- 2011年、豊丘村で発生した林野火災で散水



上段：協定に基づく給水車派遣の様子
中段：浜松市消防ヘリ「はまかぜ」
下段：関連する県際消防防災訓練の様子

◆ 峠の国盗り綱引き合戦 (⑤中山間地域が輝くプロジェクト)

【実施主体】 飯田商工会議所遠山郷支部、天竜商工会水窪支所

【概要】

- 1987年に第1回開催し今年度で35回目
- **長野県と静岡県**の県境となる**兵越峠**を会場とし、両地区の住民が**綱引き**を行う
- **勝者が県境を1メートル**広げることができるというユニークなイベント
- 事業を通して、**県境域の住民同士が交流を深める**とともに、地域の活性化にも寄与



(現在、信州軍(長野)が県境を3メートル広げている)

◇開催概要

日程 毎年10月第4日曜日

場所 兵越峠(長野県と静岡県の県境)

◆ 三遠南信教育サミット

(⑦人生100年時代プロジェクト)

【実施主体】 三遠南信地域27市町村

【概要】

- 1996年に第1回が開催され、今年度で**29回目**
- 三遠南信地域の教育関係者が一堂に会し、**各地域の教育振興と教育関係者同士の交流、親睦を深めることを目的**に開催
- 令和7年度は、2025年7月18日（金）に静岡県磐田市を会場に開催



(教育サミットの様子)

◆ 中学生交流事業

【実施主体】 浜松市、豊橋市、飯田市

【概要】

- 沿岸地域、山間地域など**異なる地域特性を持った生徒が相互交流**を実施
- **三遠南信地域の連携を経験**するとともに、**他地域の文化や人材と触れ合う機会**となっている
- 令和7年度は8月5日（火）、6日（水）の2日間、ライフポートとよはし、のんほいパーク他、愛知県豊橋市を会場に開催



(「豊橋筆」作りを体験する様子)

◆ 三遠南信軽トラ市ネットワーク化事業

(③地域の稼ぐ力強化プロジェクト)

【実施主体】 愛知大学、各軽トラ市実行委員会、自動車企業

【概要】

- 可動商店街として注目を集める「**軽トラ市**」を活用した**ソーシャルビジネスの促進**を図る
- 浜松市に本社を構えるスズキをはじめとする**自動車企業とも協働**して軽トラ市を実施
- 三遠南信地域内外の**軽トラ市実施団体のネットワークの形成**を図る



- しんしろ軽トラ市（愛知県新城市）
 - 会場：新城中央通り商店街
 - 日時：毎月第4日曜日

(上段：愛知県しんしろ軽トラ市

下段：全国軽トラ市in浜松（スズキ社長）

(出典：(一社)日本自動車工業会 JAMAブログ)

13. 第2次ビジョンの具体的な取組事例と成果⑦

◆ 三遠南信しんきんサミット

(③地域の稼ぐ力強化プロジェクト)

【実施主体】 三遠南信しんきんサミット事務局

【概要】

- 三遠南信地域内に本店を構える **8つの信用金庫が連携して開催**
- 三遠南信地域の**特産品を販売する物産展**や**地域づくりを議論するシンポジウム**を実施。今年度で18回目
- 三遠南信地域の企業が県境を越えた連携を行い、**相互の魅力発信や新たな結びつき創出による地域活性化を目的**としている
- 今年度は2025年11月3日（月）に、長野県飯田市を会場に開催された



三遠南信地域内の8信用金庫

		預金量(百万円)	職員数(人)	店舗数(店)
遠州地域	浜松磐田信用金庫	2,808,618	1,632	87
	島田掛川信用金庫	1,018,326	731	49
東三河地域	遠州信用金庫	478,567	266	25
	豊橋信用金庫	1,009,244	532	34
	豊川信用金庫	878,396	549	36
南信州地域	蒲郡信用金庫	1,435,940	741	44
	飯田信用金庫	607,232	343	23
	アルプス中央信用金庫	338,634	216	18
合計		8,574,957	5,010	316

13. 第2次ビジョンの具体的な取組事例と成果⑧

◆ JR飯田線の利用促進事業 (④三遠南信探訪プロジェクト)

【実施主体】 JR飯田線活性化期成同盟会

【概要】

沿線関係団体がJR東海と連携し、
三遠南信地域を南北に結ぶ**飯田線の
利用促進に向け活動**を実施

- 地域を自転車で巡るサイクルツーリズム促進のための「**サイクルトレイン**」の運行
- 飯田線沿線に数多く存在する「**秘境駅**」を訪ねる**特別列車の運行** など



JR飯田線 サイクルトレイン

10/19

フリーライドコース (自転車専用)
サイクルトレイン専用列車に同乗可能

ガイドツアーコース (自転車専用)
サイクルトレイン専用列車に同乗可能
サイクルトレイン専用列車に同乗可能
サイクルトレイン専用列車に同乗可能

40名 (申込あり)
4人1組の定員制限あり
1組あたり1台の自転車のみ同乗可能
同乗人数超過はキャンセルとなります

フリーライドコース 3,000円 (税込)
ガイドツアーコース 5,000円 (税込)
※別途、保険料、ドリンク代

申込 早急申込によりお申し込みをプレゼント!

秘境駅・朝ヶ南駅・奥河原・伊豆市駅
立寄駅・伊豆川温泉 ございます

9月30日 9月8日(月) 10時
～ 10月11日(金) 17時迄
※各駅にて予約受付

伊豆バス観光バス
TEL 0265-78-4321
※乗車に申し込んでください。詳しくはお問い合わせ

旅行代理 株式会社 三遠南信探訪プロジェクト

◆ 合唱劇「カネト」の公演 (②三遠南信圏民の一体感醸成プロジェクト)

【実施主体】合唱劇「カネト」をうたう合唱団

【概要】

- JR飯田線の前身「三信鉄道」時代に急峻な山間の測量と一部工事を行った**アイヌ民族の川村カネト氏の半生を描いた児童文学作品を原作に合唱劇の公演を行う**
- 小学校等でも実施され、**地域の歴史や文化の理解を深めている**

◇2025年開催概要

- 4月27日(日) のんほいコンサート【新城市】
- 7月13日(日) 飯田公民館コーラスグループ発表
- 11月9日(日) 新城音楽祭

(公演の様子)



1. モデルとしての全国の県境地域との連携

① 県境を越える広域連携計画の希少性

- 日本全体において、人口減少が進む中、従来の県単位に捉われない**県境を越えた広域連携の重要性が高まっている**
- 一方、県境を越える広域連携組織は全国で約130（2018年）あるが、**官民の複合形態は20.9%**に留まる
- 広域連携にあたり**計画を策定しているのは全体の18.5%**（2022年）のみとなっている
- 本ビジョンは、**産・学・官・民が参画する組織により計画を推進している**

	運営主体(2018)			合計
	行政主体	民間主体	行政民間複合	
県境連携組織	98	10	28	134
既存(変更)	55 (3)	3 (0)	12 (0)	70 (3)
新規	33	2	10	45
解散・休止・不明	9	5	5	19

（愛知大学三遠南信地域連携研究センター調査より引用）

② 全国の県境地域との連携

- SENAが分室を設置している愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、**文部科学省の共同利用共同研究拠点の越境地域政策拠点**として、国内外138研究機関との**越境地域政策に関するネットワークを形成**
- 三遠南信地域をモデルとして、新潟・長野の信越県境地域が越境地域づくりを実施



本ビジョンをモデルプランとして、**全国の県境地域と連携を実施**



(信越県境地域におけるシンポジウムの様子)

2. 広域連携都市圏の形成の取組

- 第2次中部圏広域地方計画（2016年3月決定）
「広域連携の先進をいく三遠南信地域連携」として、「三遠南信地域連携ビジョン」の実現に向け、自立的な広域連携都市圏の形成に取り組むことが明記
- 中部圏広域地方計画 中間とりまとめ（案）（2025年10月公表）
「三遠南信エリアの圏域形成強化」が明記



中部圏における中核的役割を果たしていく



（愛知大学三遠南信地域連携研究センターより引用）

3. 県境地域の持続性の確保

- 第33回サミットで人口減少時代における社会インフラの維持のため、広域連携の重要性を確認
- このため、地域内の社会インフラの維持のため、**新たに個別の研究会を設置**し、検討を開始



今後も新たな地域課題解決に向けて、迅速に対応していく



(2026.1月に行われた担当者研究会の様子)

◇第1回研究会の概要
日程 2026年1月14日 (水)
場所 愛知大学 豊橋キャンパス
テーマ 行政(団体)運営の持続可能性と連携手法について～人材面を中心に～

産学官民の多様な主体が一体となり、
県境を越える三遠南信流域都市圏の
発展を目指します！

ご清聴ありがとうございました。

<https://www.sena-vision.jp/>